

## 第 章 本部町における景観の特性と課題

### 1. 本部町の景観の特性（景観要素）

#### （1）景観特性の分類

本町の景観資源を、山並みや海岸、河川及び農地等の“自然的景観”、集落や市街地及びそれらに分布する歴史的資源等を“集落・市街地景観”、また、国営沖縄記念公園海洋博覧会地区等の観光施設や国道・県道等を“交流・シンボル景観”とし、3つに分類します。

#### 景観要素分類体系

景観要素大分類	景観要素小分類	景観要素の内容
自然的景観	山並み・山間部の景観	八重岳や円錐カルスト地域等の本町の大部分を占める山並み景観
	河川景観	満名川や大井川等の河川景観
	海岸景観	良好な自然海岸景観（具志堅、新里、備瀬、崎本部等）
	島々の景観	瀬底島、水納島、伊江島、伊平屋島、伊是名島等、島々の眺め
	ゆうもどろの景観	夕陽が創り出すゆうもどろの景観
	農業景観	輪キクやミカン類、満名タープク等の農業景観
集落・市街地景観	集落景観	備瀬集落に代表される緑豊かな集落景観
	市街地景観	町営市場（まちぐわー）周辺の生活・暮らしの景観
	歴史・文化的景観	歴史を感じさせる瀬底土 <sup>せそこてい</sup> 帝君や拝所等
	祭りの景観	シニークや豊年祭、ハーリー等の祭り・伝統祭事の景観
交流・シンボル景観	観光施設景観	国営沖縄記念公園海洋博覧会地区やゴルフ場、ホテル、人工ビーチ等の観光・レクリエーション施設の景観
	道路・橋梁景観	国道・県道等の観光ルートの道路・橋梁景観
	港の景観	本部港（渡久地地区・本部地区）や漁港等、港の景観

#### （2）自然的景観

## 1) 山並み・山間部の景観

### 円錐カルスト地域の山並み

本町北部には熱帯カルスト地形が広がり、その特徴ある自然や風土景観の保護と自然利用の増進を図るため、平成18年3月28日、沖縄海岸国定公園に編入されました。円錐カルスト地域の山並みは、本町を代表する自然景観のひとつであり、周辺の農地や集落と調和した美しい景観を形成しています。



本部町運動公園付近から見た本部富士とウフグシクムイ(浜元)

### 八重岳を山頂とする山並み景観

本町南側に位置する八重岳(標高453m)は、山頂からふもとまで町道八重岳線沿いに寒緋桜(カンヒザクラ)が植栽され、日本一早い桜まつりが開催される等、観光の拠点でもあります。町内のみならず周辺市村からもその頂を眺めることができ、広域的なシンボル景観として捉えることが出来ます。また、沖縄県自然環境保全地域(嘉津宇岳・安和岳・八重岳・自然環境保全地域)に指定されています。



山里集落より望む八重岳(山里)

## 2) 河川景観

### 満名川

満名川は本町東部から、本部港(渡久地地区)にそそぐ、延長約4,000mの二級河川であり、満名川流域が本町の大半を占め、並里の山林から、農地を潤し、市街地、港へと良好な河川空間を形成しています。古くは流域に開けた低地に満名タープクと呼ばれる稲作地帯が広がっていました。



満名川  
川辺には桜の木が植栽されており、桜の咲く時期になると良好な自然景観を演出する(東)

現在はほとんどが宅地化あるいは他の作物の農地と化していますが、満名川を挟んで穏やかで潤いある集落的景観が形成されています。

#### 大井川

大井川は、伊豆味の山林から、集落内を通り抜け、今帰仁村へと流れる二級河川です。伊豆味の集落内では潤いある景観を創出しています。



大井川(伊豆味)

#### その他河川

港川、大小堀川、崎本部川、シンナナ川等の普通河川においても、河川幅は小さいが集落内を通る等、住宅地内に潤いある空間を創出しています。

### 3) 海岸景観

#### 具志堅・新里・備瀬の海岸

本町の北部において良好な自然海岸がみられ、地域住民及び観光客の憩いの場として広く利用されています。



具志堅の自然海岸

#### 崎本部の海岸

崎本部における自然海岸は国道449号の西側に広がっています。崎本部ビーチにおいては、現在、防風林の育成が図られています。



崎本部ビーチ(崎本部)

### 瀬底島・水納島の海岸

瀬底の自然海岸は、現在、リゾート開発が進められており、整備にあたっては周囲の景観との調和に配慮した建築物等の意匠や形態、配置が求められます。また、水納島の美しい海岸は、夏期、多くの観光客が訪れる本町のレクリエーション拠点となっています。



瀬底の海岸

#### 4) 島々の景観

##### 周囲の島々への眺望

本町は、瀬底島及び水納島の島しょを有し、海岸や丘陵地から西の海への眺望は特徴があり魅力的です。晴れた日の夕暮時、東シナ海に沈む夕陽と島々が織りなす景観は、本町の重要な景観要素となっています。

また、水平線上に浮かぶ伊江島や伊平屋島、伊是名島の島影は特徴的であり、印象深い景観を演出しています。さらに、円錐カルストの頂上付近からは、前述の島々に加え古宇利島（今帰仁村）や屋我地島（名護市）も含めた広大な島しょ景観を望むことができます。



備瀬の自然海岸から伊江島を望む(備瀬)



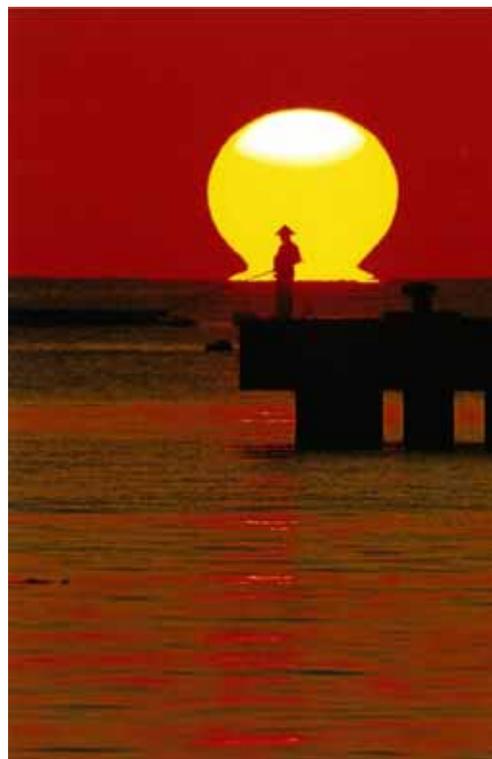
ウフグシクムイより瀬底島を望む

#### 5) ゆうもどろの景観

##### ゆうもどろの景観

本町の西側に広がる東シナ海へ沈む夕陽が作り出す幻想的で美しい景観は、本町の代表的な景観資源です。季節によって沈む方向が異なり、瀬底島や水納島、伊江島と夕陽が織りなす美しい景観は、「ゆうもどろ」の景観と称しています。

注)「あけもどろ」という言葉は、沖縄・奄美諸島に伝わる古代歌謡「おもろさうし」の中で語られた言葉で、南国の太陽が東の空に昇るとき、一瞬、色あざやかな光がうず巻状をなして織りなしてくる荘厳で雄大な光景をさしたもの。「ゆうもどろは」それを西の空に沈む太陽が織りなす光景をさす造語で、本町の風景等を表現する際によく使用される。



ゆうもどろの景観

## 6) 農業景観

### 電照菊畑の景観（夜景）

本町は輪キクの栽培が盛んであり、いたるところで菊畑をみることができます。夜間に電照を行う栽培手法が用いられており、独特の夜景を演出しています。



独特の夜景を演出している電照菊畑(新里)

### ミカン畑の景観

本町においては、伊豆味を中心としてタンカンやカーブチー等ミカン類の生産が盛んです。また、産業としてだけではなく、タンカン狩り等、観光資源のひとつでもあり、ミカン畑は本町の農地景観の特性でもあります。



斜面緑地にあるミカン畑(伊豆味)

### 満名ターブクの景観

本町の伊野波、並里の満名川沿いにおいては、以前は通称満名ターブクと呼ばれた水田地帯として稲作を営んでいました。水の豊富な地域であることから、現在は田芋の生産を行っており、満名川沿いに広がる田芋畑が潤いある農地景観を形成しています。



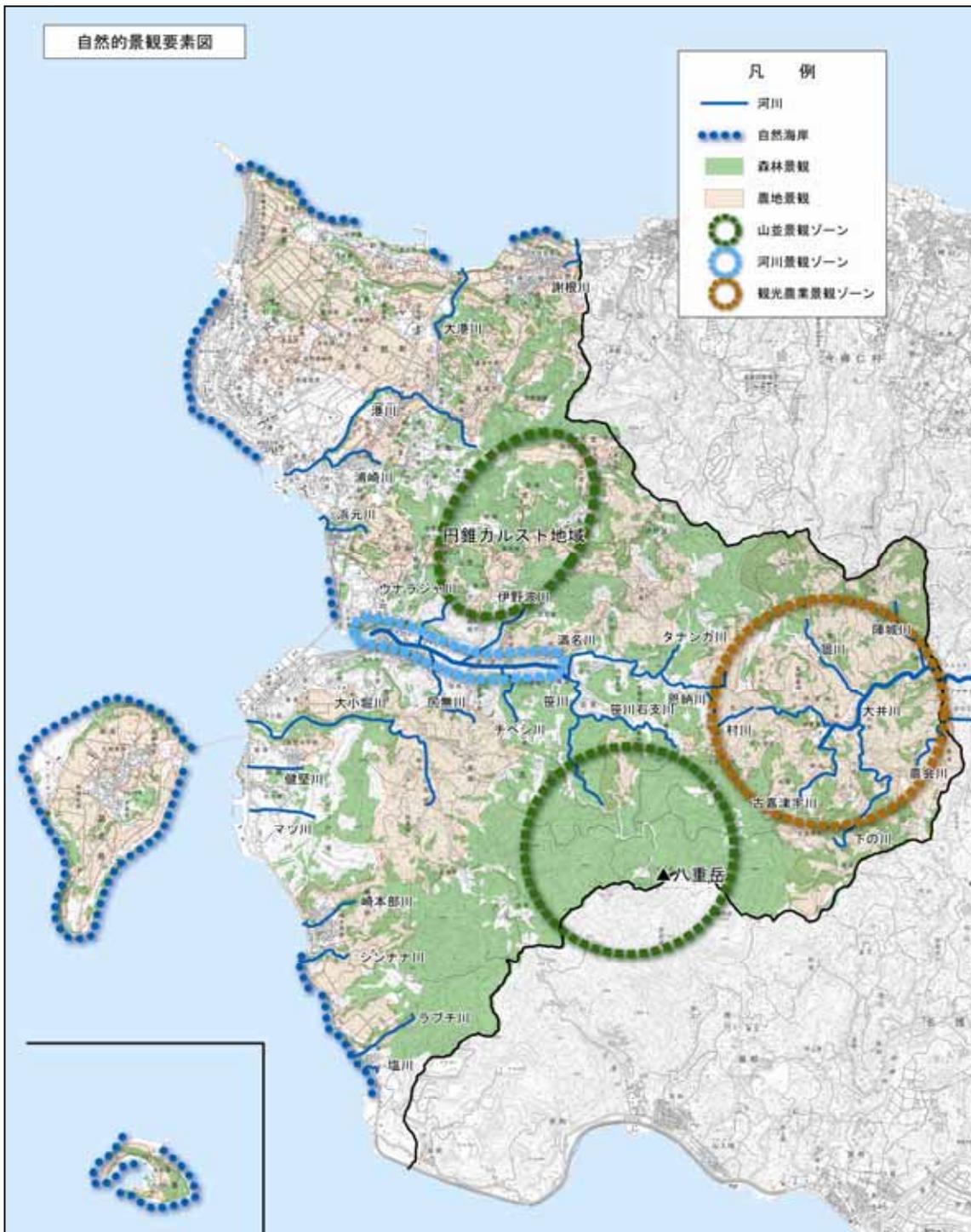
満名川沿いに広がる田芋畑の景観(伊野波)

### 集落を取り囲む農地の景観(田園景観)

本町は、屋敷林等の緑が豊かな集落と農地が調和し、良好な田園景観を有している地区が多くみられます。特に備瀬、豊原、新里、具志堅、瀬底等において、農地の中に、集落のフクギや瓦屋根がかすかに見え隠れる風景は、本町の伝統的な風景を醸し出しています。



農地と調和している集落景観(豊原)



### (3) 集落・市街地景観

#### 1) 集落景観

備瀬・瀬底・山川・豊原・具志堅・新里・崎本部等の豊かなフクギ並木を有する景観

備瀬・瀬底・山川・豊原・具志堅・新里・崎本部等の集落については、緑豊かなフクギの屋敷林や石垣、瓦屋根住宅が多く残っており、伝統的な集落の風景をみることができます。



フクギ並木が残る集落景観(備瀬)



集落内のフクギと石垣(具志堅)



フクギの屋敷林と石垣が残る集落景観(山川)



瓦屋根が並ぶ集落景観(崎本部)



赤瓦屋根の住宅(瀬底)



赤瓦屋根の住宅(瀬底)

### 崎本部・健堅の八重岳を背景とした緩やかな丘陵地の集落景観

本町南部の崎本部・健堅の集落は、国道449号側から緩やかに上っていく地形に立地しています。崎本部集落の南側においては、瓦屋根住宅も多く残っており、背後の雄大な山林と調和した集落景観となっています。また、健堅の集落に囲まれた原野には、緑に囲まれた古くからの墓地が数多く点在しています。



健堅集落の背後の雄大な山林

### 大堂や山里の山間部の集落景観

大堂や山里の集落は、円錐カルストに囲まれた山間部に散在しています。円錐カルストを背景に、農地と小規模な集落が調和し、落ち着いた景観を醸し出しています。また、円錐カルストの凸地形に対して石灰岩地域に発達する凹地形のポリエがつくる景観も本町の特徴的な景観要素となっています。



円錐カルスト(山里走地原)

注) ポリエとは、石灰岩地域にみられる平坦な谷底と急斜面の谷壁に囲まれた細長い楕円形の輪郭をもつ凹地。ドリーネやウバーレがいくつも結合してできた溶食盆地。

## 2) 市街地景観

### 市場（まちぐわー）周辺の景観

渡久地の町営市場周辺は本町の中心的市街地であり、本町のおへそのような重要な商業空間です。経済情勢や購買行動の変化から大型店等へ客足が向かっていますが、地域住民の工夫と試行錯誤で活性化に向けた動きを見せています。市場に並ぶ農産物や海産物、それを求める地域住民や観光客等人びとの生活文化が作りだすにぎわいのある景観の再生が今後の課題です。



中心市街地景観(町営市場周辺)



町営市場(渡久地)

### 谷茶・渡久地の港町景観

谷茶や渡久地の市街地については、港を中心とした独特の景観を有しています。特に、港と市街地、さらに満名川へとつながる風景は他の地域にはみられない港町の風情を感じさせます。



本部港(渡久地地区)の港町景観



港町の風情を感じさせる景観(本部港(渡久地地区))

### 大浜の都市基盤整備された市街地景観

大浜は、博物館や図書館、産業支援センター(アジマーもとぶ)等の公共施設が多く立地し、道路基盤も整っていることから、整然とした市街地景観が形成されています。

国道449号沿道には、派手なデザインや表示面積の大きい看板等の設置が見られます。



国道 449 号本部循環線沿線(大浜)

### 3) 歴史・文化的景観

#### 天然記念物

天然記念物として、国指定の塩川や県指定の嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区、大石原のアンモナイト化石、町指定の大浜の有孔虫石灰岩があります。

特に、塩川においては、貴重な自然的景観を有しており、国道449号沿いにあることから観光資源としても重要です。



国指定天然記念物の塩川(崎本部)

#### 有形民俗文化財

瀬底土帝君せぞこていじんは国指定の重要文化財（建造物）に指定されています。周辺の樹木、石積み等と一体となって、歴史を感じさせる景観を形成しており、本町を代表する歴史的景観要素です。

また、町指定の有形民俗文化財として、具志堅の神八サーギかみがあります。具志堅集落の南側の緑豊かな小高い丘の上であり、独特の歴史的景観を醸し出しています。



瀬底土帝君(瀬底)



神八サーギ(具志堅)

#### 各集落に点在する神社や拝所

各集落内やその周辺においては、神社や拝所が多く存在しています。それらの周辺には豊かな緑や大木等が残っており、古くから住民にとって重要な場所であることが感じられます。集落の景観を醸し出す重要な景観要素となっています。



アサギのデイゴ(辺名地)

#### 4) 祭りの景観

##### 伝統的な祭り

本町には、具志堅、備瀬、伊野波、辺名地等の地域で稲の収穫後に行われるシニグ、伊豆味、備瀬、瀬底、渡久地等で行われる豊年祭、瀬底の土帝君で行われる正月、渡久地の綱引き、各地域におけるハーリー等の多くの伝統的な祭りが現在に伝承されています。また、かつて盛んだった瀬底ピージャーオーラサイも開催されています。



具志堅のシニグ  
(出典:本部町の町の移り変わりと人の暮らし(本部町教育委員会))



渡久地の綱引き  
(出典:本部町の町の移り変わりと人の暮らし(本部町教育委員会))



瀬底ピージャーオーラサイ



健堅のハーリー

##### その他の祭り

本町では、海洋博公園サマーフェスティバル、本部八重岳桜まつり、本部海洋まつり等の現代の活気ある祭りが開催され、にぎわいのある空間を形成しています。



本部八重岳桜まつり



## (4) 交流・シンボル景観

### 1) 観光施設景観

#### 国営沖縄記念公園海洋博覧会地区

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区は、年間約350万人の観光客が訪れる国営公園であり、本町のみならず、沖縄本島北部地域の観光拠点となっています。公園面積（計画決定）は約77haと大規模で、管理された公園の緑や各種公園施設は、周辺地域に対しても良好な景観資源となっており、本町をイメージづける施設（景観）の一つとなっています。



中央ゲートより伊江島を望む



壁面緑化している立体駐車場



沖縄美ら海水族館

#### 八重岳桜の森公園

八重岳桜の森公園は、八重岳中腹に位置し、日本一早い桜まつりの会場です。まつりのシーズンには多くの観光客が訪れる観光の拠点であり、八重岳の桜は、本町を代表する景観の一つとなっています。



八重岳の桜並木



八重岳桜の森公園

### 田空・新山村コア施設（ハーソー公園）

水が豊富に湧き、稲作が盛んであった具志堅の良好な田園景観を再生するために田園空間整備事業によって整備された公園です。

また、地域住民の誇りの形成、農業的景観の意義について意識を啓発する意味でも重要な施設です。



田空・新山村コア施設(ハーソー公園)(具志堅)



公園内にあるフブガイ(具志堅)

### ビーチ

本町には、崎本部ビーチや瀬底ビーチ(クンリ浜)、エメラルドビーチ、水納ビーチ等の観光客が多く訪れるビーチが多数存在しています。また、本部港(本部地区)の南側のビーチはダイビングスポットにもなっています。



水納ビーチ

### 伊豆味の観光施設

伊豆味の名護本部線(県道84号線)沿道は、みかんの里総合案内所や、観光客向け店舗や飲食店・カフェ等が立地している観光ルートですが、一方で派手な色彩の建築物や看板がみられます。

### ホテル

本町におけるホテルの多くは、国道449号沿道及び県道114号線沿道の海岸部で、海の眺望に優れた場所に立地しています。そのため、周囲の自然景観との調和に配慮した高さ、意匠や形態を有する建築物としてのホテルの立地を促進することが望まれます。

### ゴルフ場(ベルビーチゴルフ場・本部グリーンパーク)

ゴルフ場は、観光施設としてアクセス道路周辺の美化に積極的であり、良好な景観を形成していますが、敷地の規模が広大となっています。そのため、地域の景観形成に配慮した施設及び敷地管理が望まれます。

## 2) 道路・橋梁景観

### 国道 449 号

国道449号は、本町西海岸の主要幹線道路であり、観光ルートでもあります。良好な海岸景観を望むことができ、近年、整備が進み、ゆとりある歩道や、ヤシの木等の植栽、ロードパーク等も整備されており、良好な道路景観を備えつつあります。しかしながら、沿線の本町南部(塩川)に採石場があり、景観への配慮等が必要です。日本風景街道「美ら海とやんばるの風景海道」(国土交通省)に登録されています。



国道 449 号

### 道 505 号

国道505号は、本町の中中部(浦崎)から、北側を通り、今帰仁村へ抜ける主要幹線道路です。日本風景街道「美ら海とやんばるの風景海道」(国土交通省)に登録されています。国道449号の海の眺めとは対照的に山や集落、農地を通るルートで、住民の生活に密着した道路です。また、今帰仁城趾等への観光ルートでもあります。



国道 505 号

### 名護本部線(県道 84 号線)

名護本部線(県道84号線)は、名護市から、伊豆味を通り渡久地に至る山側の主要幹線道路であり、良好な山林景観を有しています。伊豆味周辺では、観光施設が多く立地し、観光ルートですが、屋外広告物が乱立している箇所もみうけられます。



県道 84 号線沿いに乱立する看板等

日本風景街道「美ら海とやんばるの風景海道」(国土交通省)に設定されています。

### 県道 115 号線

県道115号線は、本町東側の山間部を通る本町の市街地と今帰仁城跡を結ぶ幹線道路であり、円錐カルスト地域の特徴的な山々を眺めることができ、観光ルートとしても重要であります。また、近年、整備に伴い橋梁が架けられており、地形に沿って緩やかに曲がるカーブを抜け、全面に広がる円錐カルスト地形とこれら橋梁が織りなす景観は、本町の特徴的な景観となっています。



県道 115 号線

### その他道路

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区や備瀬の集落等の観光拠点を繋ぐ県道114号線や、円錐カルスト地域を東西方向へ通過する町道大堂線についても、本町の景観形成において重要な道路となっています。



県道 114 号線

樹木の植栽により潤いのある道路景観を演出している

### 本部大橋

本部大橋は、本部港（渡久地地区）をまたぐ国道 449 号の大規模な橋梁であり、港周辺の景観にとって重要なシンボルの要素となっています。

今後、4車線化が予定されていることから、周辺景観と調和した橋梁デザインが望まれます。



町道大堂線

### 瀬底大橋

瀬底大橋は、健堅から瀬底島への橋梁であり、本町の西海岸の広い地域から眺めることができます。海の青と島の緑に映える白い瀬底大橋は、本町を代表するシンボル景観となっています。



瀬底大橋



本部大橋

### 3) 港の景観

#### 本部港（本部地区）

瀬底島の対岸となる崎本部にあり、昭和 50 年に開かれた沖縄国際海洋博覧会に際し、大型旅客船の接岸バースとして整備されました。現在では伊江島への定期フェリー、那覇～鹿児島航路の大型フェリーが毎日寄港し、北部地域の流通港として機能しています。また、北部地域の拠点港として、流通、物流、観光



本部港(本部地区)

等の総合的な機能を有した港湾施設の整備が検討されています。

#### 本部港（渡久地地区）

本部港（渡久地地区）は、伊平屋島、伊是名島をはじめとする本島北部離島の拠点港、カツオ漁の基地港として栄えましたが、こうした機能は衰退・移転し、現在は水納島航路を中心とした観光港としての性格を強め、年間約 20 万人の乗降客が利用する港です。市街地の景観、満名川の河口の風景と調和した独特の港町の風景を形成しています。



本部港(渡久地地区)



(5) 景観領域のイメージ

本町における景観要素の地域別の特性から、景観領域として分類すると、以下の5地域に分けることができます。

山林地域

緑豊かな自然景観を中心とした地域です。伊豆味においてはタンカン等の果樹園が多く、観光農業も盛んです。また、八重岳においては桜並木があり、本町を代表する景観要素となっています。さらに円錐カルスト地域においては、大堂ポリ工等特有の地形と農地が調和した趣のある原風景を形成しています。また、集落は比較的小規模であり、周辺環境と調和しています。

田園地域

石垣やフクギ屋敷林等伝統的要素の残る集落が多い地域です。また、地形的にも平坦であり、農地が広がっています。

市街地地域

満名川の河口部に位置する港を中心として市街地が形成されている地域です。商業施設や公共施設が集積しています。

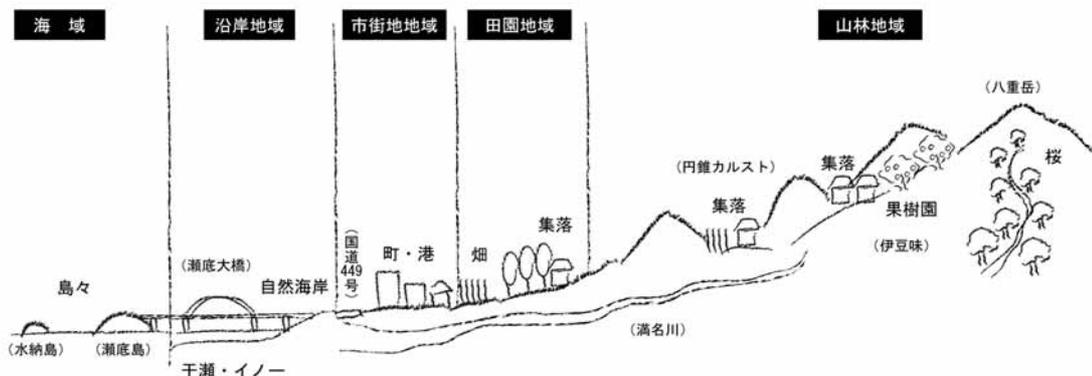
沿岸地域

自然海岸が多く残る地域です。また、干瀬・イノーが広がり、生物の生息域、町民や観光客の憩いの場、レクリエーションの場として重要な地域です。

海域

本町からは、水納島、瀬底島、伊江島、伊平屋島、伊是名島等、一円の島々を眺めることができます。

■本部町における景観領域イメージ



## 2 . 本部町における課題

### ( 1 ) 良好な集落景観の保全

本町には、備瀬の集落をはじめ、瀬底、具志堅等の昔ながらのフクギの屋敷林や、瓦屋根住宅、石垣が多く残っている集落があります。それらの伝統的な集落景観は長い時代を経て形成され、守られてきた原風景であり、一度失うと容易には再生できない貴重な財産です。

今後、集落内やその周辺において、大規模な建築物や工作物の建設が予定される場合、周辺の集落景観等と、調和した規模及び配置、形態意匠とすることが求められます。



石垣に囲まれた石柱のある旧家(古島)  
(出典:本部町の町の移り変わりと人の暮らし  
(本部町教育委員会))



伝統的景観要素である瓦屋根住宅が失われたことにより伝統的集落としての魅力が低下した

### ( 2 ) 良好な自然景観の保全

本町は、八重岳、円錐カルスト地域に代表される山林景観や自然海岸等、良好な自然景観を有しています。しかし、近年、国道・県道沿道、眺望の良い山間部等や島しょ地域が開発されている傾向にあります。したがって、良好な自然景観の保全や、地域の自然景観の特性に応じた景観形成が求められます。また、円錐カルスト地域一帯においては、自然公園区域に指定されていることから、自然公園法の許可の基準の特例の活用について検討する必要があります。

さらに、本町の景観的魅力である島々への良好な眺望を保全する必要があり、海岸部への大規模な建築物等の建設にあっては周辺景観との調和及び眺望等に配慮することが求められます。

### ( 3 ) 観光ルートである主要道路景観の修景

観光は本町の主要な産業であり、観光ルートである国道 449 号や国道 505 号及び名護本部線(県道 84 号線)等の道路景観は、本町の景観を印象づける重要な要素となっています。

よって、道路の植栽や、沿道の建築物の色彩、屋外広告物等は、周辺環境との調和を配慮する必要があります。特に、名護本部線（県道 84 号線）においては、屋外広告物の乱立がみられ、道路景観を阻害している箇所もあり、今後、屋外広告物の適正化に向けた取り組みを検討する必要があります。



屋外広告物の乱立が見られる(伊豆味)

また、国営沖縄記念公園海洋博覧会地区や備瀬の集落等の観光拠点を繋ぐ県道 114 号線や、円錐カルスト地域の東側を通り今帰仁城跡へと向かう県道 115 号線、さらには、円錐カルスト地域を東西方向へ通過する町道大堂線についても、本町の景観形成において重要な道路であり、それぞれの地域の景観特性に応じた道路景観の形成が必要です。

#### (4) 農業景観の保全・修景

本町は、輪キクやミカン類、サトウキビ等の生産が盛んであり、それらの農地景観はそれぞれ特徴があり、地域の重要な景観要素となっています。しかし、近年、耕作放棄地の増加等、原野(荒れ地)となり景観を阻害している箇所もみられます。今後は、農地の活用を促進する等、農地景観の保全・修景が必要です。

#### (5) 大規模公共施設の景観への配慮

港湾施設や橋梁、護岸施設等の大規模公共施設が周辺景観へ与える影響は大きく、周辺環境と調和が求められます。特に本町は、良好な自然海岸や山林を有しており、それら自然景観への配慮が必要です。

#### (6) 中心市街地における景観形成

本町の中心市街地は、本部港（渡久地地区）や満名川と一体となった独特の景観を有しています。経済情勢や購買行動の変化から大型店等へ客足が向かっていますが、近年、空き店舗の活用や各種イベントの開催等、活性化に向けた取り組みが進められているところです。



本部町の市街地景観のひとつ(渡久地)

今後、港と河川及び市街地が連携した、魅力ある景観づくりを進め、中心市街地の活性化に資する魅力あるまちなみを創出していく必要があります。